

6. 【手順 5】 オプション設定 パッケージソフト利用者全員

第6次のパッケージソフトを初めて起動する際には、オプション設定画面が表示されます。

○ 論理端末名、及び端末アクセスキーの設定 必須

パッケージソフトを利用するパソコンをNACCSが識別するための「論理端末名」と「端末アクセスキー」を設定します（現行NACCSパッケージソフトを利用している場合は、同じ値を設定してください。）。

netNACCS処理方式またはインタラクティブ処理方式の場合

オプション設定

端末 サーバ プリンター 自動印刷 送信前確認 電文振分条件 自動保

端末の全体的な設定を行います。

論理端末名

端末アクセスキー

端末定義

端末種別 net

利用者区分 民啓

オプション設定の共有

利用者毎く共有しない 共有する

電文保存期間 14 日 ディスク容量警告 100 MB

- ① オプション設定画面（端末タブ）の「論理端末名」に、NACCSセンターから指定された論理端末名を入力します。
- ② 「端末アクセスキー」に、NACCSセンターから指定された「端末アクセスキー」を入力します。

○ デジタル証明書の確認 netNACCS利用者のみ必須

netNACCS処理方式をご利用の場合、デジタルの証明書が選択されていることを確認します（デジタル証明書のインストールが正しく行われている場合は、自動的に選択されます。）。

オプション設定

端末 **サーバ** プリンター 自動印刷 送信前確認 電文振分条件 自動保存(種別単位) 自

通信に必要な情報を設定します。

接続先サーバ 本番環境

クライアント証明書

通信に用いるデジタル証明書を自動的に選択する

発行先 NAC1S023W

発行者 netNACCS. Secure Client CA

有効期限 2017/02/18

プロキシサーバ

イン

プロ

指定

プロ

ユ-

トレース

通信トレースを出力する

○ プロキシサーバの設定 **プロキシサーバ利用者のみ必須**

netNACCS処理方式、又はインタラクティブ処理方式において、企業内のネットワークで用意されているHTTPプロキシサーバを使用してNACCSに接続する場合には、**社内のシステム管理者に確認してプロキシサーバの設定を行ってください。**

表1 プロキシサーバ

項番	種類	内容	初期値
1	インターネットオプションの設定を使用して接続する。	インターネットオプションのローカルエリアネットワーク設定で設定したプロキシ情報を利用する場合に選択します。	○
2	プロキシサーバを使用せず、直接接続する。	プロキシサーバを使用しない場合に選択します。	
3	指定したプロキシサーバを使用して接続する。	インターネットオプションに設定しているプロキシサーバとは別のプロキシサーバを使用する場合に選択します。	

表 2 プロキシサーバの設定項目

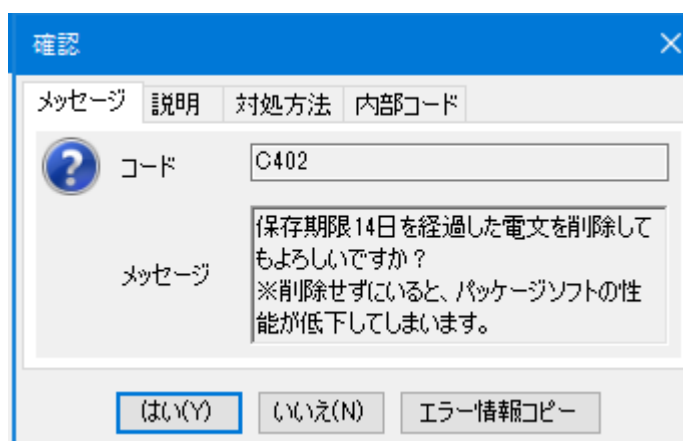
項番	項目名	内容
1	プロキシサーバ名	プロキシサーバのホスト名、又は IP アドレスを指定します。「指定したプロキシサーバを使用して接続する」場合のみ入力可能です。
2	ポート	プロキシサーバのポート番号（1～99999）を指定します。「指定したプロキシサーバを使用して接続する」場合のみ入力可能です。初期値：8080
3	プロキシサーバ認証を行う	プロキシサーバで認証が必要な場合にチェックを入れます。「プロキシサーバを使用せず、直接接続する」の場合は入力できません。初期値：チェックなし
4	ユーザー名	プロキシサーバのユーザー名を指定します。「プロキシサーバ認証を行う」場合のみ入力可能です。
5	パスワード	プロキシサーバのパスワードを指定します。「プロキシサーバ認証を行う」場合のみ入力可能です。入力値は"*"で表示されます。

○ 電文保存期間の設定 **任意**

送受信電文一覧上の電文保存期間（以下「保存期間」という）を設定します。

初期値は「14日」になっていますので、必要に応じて日付を変更してください。

パッケージソフト起動時、保存期間を経過している電文が存在する場合は、削除確認ダイアログが表示されます。



- ① 「電文保存期間」に保存期間を入力します。
- ② 保存期間は、1～99日の間で設定できます。1日と設定した場合、前日分は保持されません。



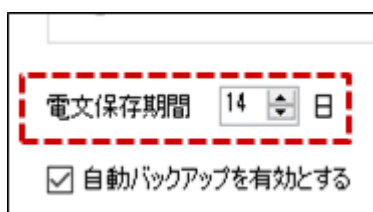
○ 送受信電文バックアップとリストア 任意

電文送受信時、送受信電文のバックアップを自動的に取ることができます。また、バックアップファイルから送受信電文をリストア（復元）することも可能です。

(1) 送受信電文バックアップ

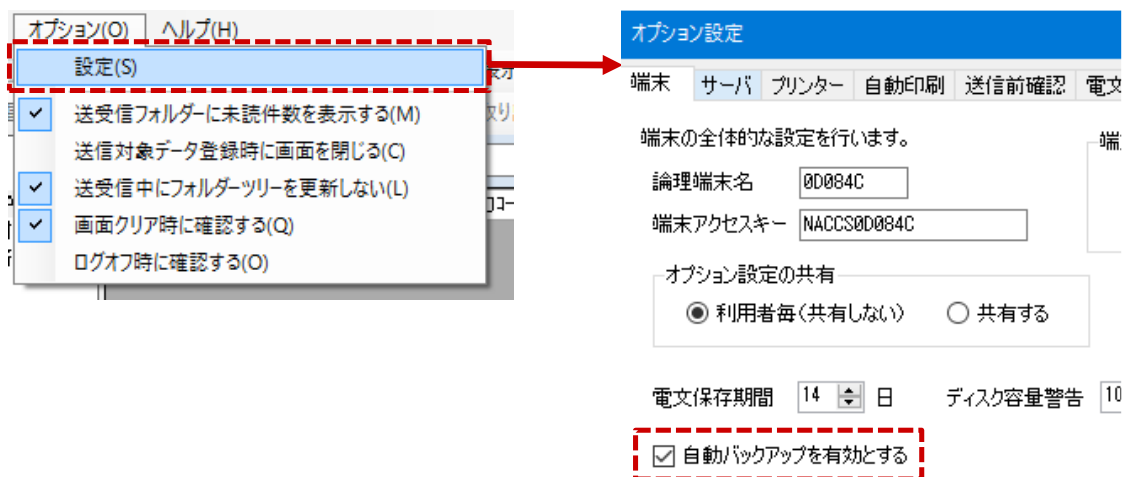
オプション設定により、バックアップ機能を使用する設定が行われている場合、送受信した電文をバックアップファイル（dat と idx の 2 ファイル）に格納します。バックアップファイルは、オプション設定の電文保存期間で指定された日数分保存されます。

初期値は「14 日」になっていますので、必要に応じて日付を変更してください。



- ① メインメニュー [オプション | 設定] を選択します。
- ② オプション設定ダイアログで [自動バックアップをする] がチェック状態になっているか確認します（**初期値はチェックが入っています。**）。
- ③ 電文送受信時に、送受信電文が電文保存期間の日付分、自動バックアップされます。

添付ファイルはバックアップ対象となりません。



○ 帳票取出しの設定 任意

指定した間隔で即時電文を取り出す、及び自動帳票取出しを行うかどうかを設定します。また、業務画面からの送信後、処理結果電文を受信した際に、自動的に即時電文取出しを行うかを設定します。**初期値は「10 分」**になっていますので、必要に応じて変更してください。

(1) 自動帳票取出しを行う

- ① [自動帳票取出しを有効にする] にチェックを入れます。

- ② [取出間隔] を分単位で設定します。[取出間隔] は 5～99 分の間で設定できます。

帳票取出

自動帳票取出しを有効にする

取出間隔 99 分

送信後に即時電文取出しを自動的にを行う

(2) 送信後に即時電文取出しを自動的に行う

- ① [送信後に即時電文取出しを自動的に行う] にチェックを入れます。
- ② 即時電文取出し、又は蓄積電文取出し中の場合、取出しは行われません。

帳票取出

自動帳票取出しを有効にする

取出間隔 99 分

送信後に即時電文取出しを自動的にを行う

○ 自動印刷を行う出力情報コードの追加 **任意**

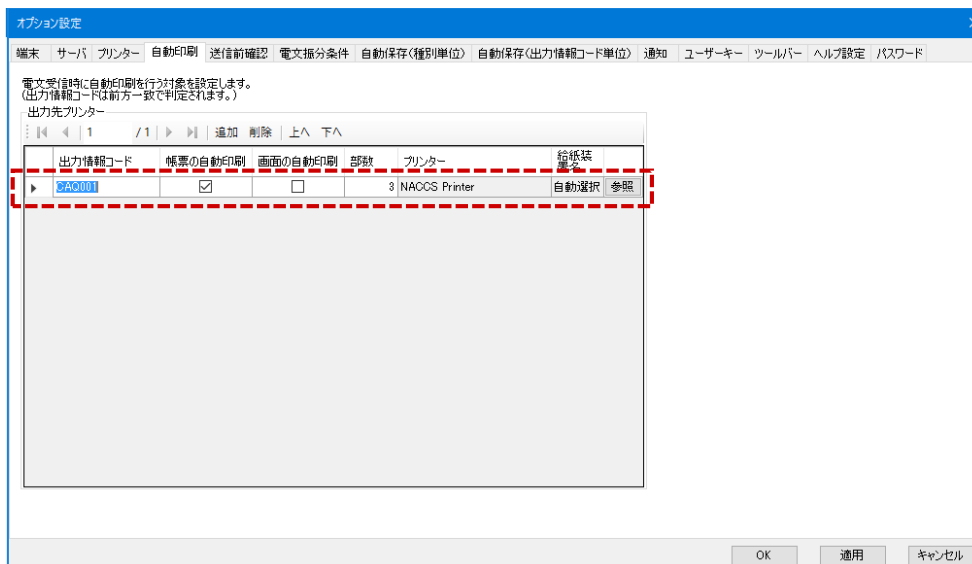
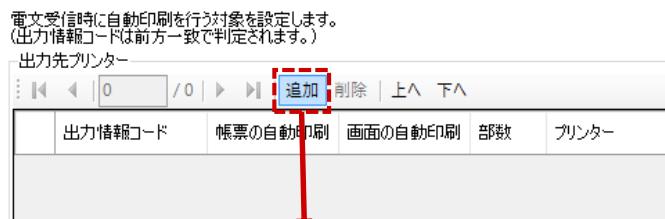
自動印刷を行いたい帳票の出力情報コードの追加、及び削除を行います。

- ① [追加] ボタンをクリックします。
- ② 一覧に 1 行追加されますので、[出力情報コード] に、**自動印刷を行いたい帳票の出力情報コード**を入力します。[出力情報コード] は 6 桁以下の半角英数字を設定できます。

<注意>

現行 N A C C S パッケージソフトでは、全ての帳票等を印刷する設定がありましたが、第 6 次 N A C C S よりペーパーレス化推進の観点から、印刷したい帳票等を設定するように仕様変更を行っております。代わりに、前方一致での設定を可能にしております。**出力情報コードに「S」、「A」、「C」の三つをそれぞれ設定しますと、全ての帳票等の印刷が可能になります。**

- ③ 目的に応じて、[帳票の自動印刷] [画面の自動印刷] にチェック入れます。



- ④ [自動印刷] のチェックを切り替えることで、出力情報コード単位で帳票／画面それぞれの自動印刷を行うかどうかを設定します。チェック状態の場合、自動印刷を行い、未チェック状態の場合は行いません。



設定内容と自動印刷有無の関係は以下のとおりです。

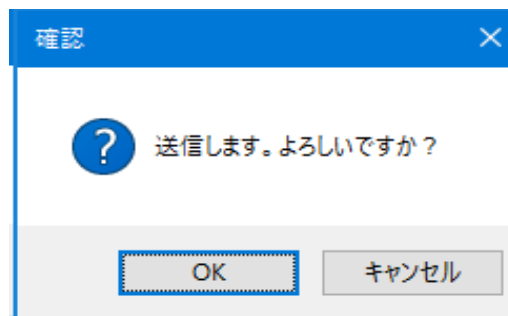
表 3 自動印刷条件

項番	設定内容			自動印刷有無 (※)	
	出力情報コード	帳票の自動印刷	画面の自動印刷	帳票電文	画面電文
1	前方一致	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	○	○
2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○	×
3		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	×	○
4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	×	×
5	前方一致せず	-	-	×	×
6	設定せず	-	-	×	×

○：自動印刷される、×：自動印刷されない

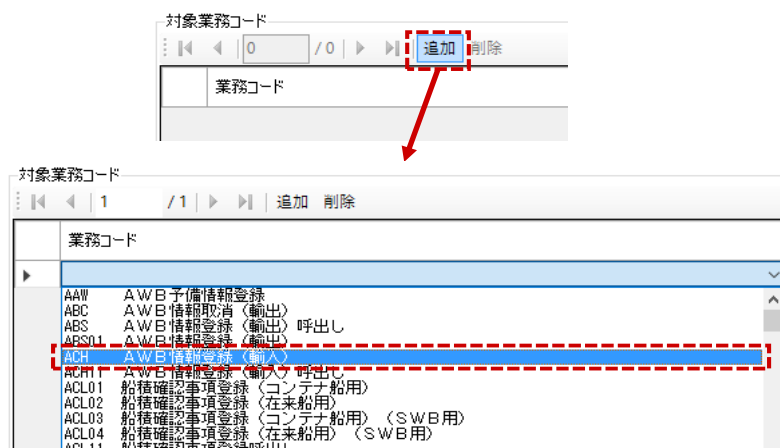
○ 送信前確認設定（[送信前確認] タブ） 任意

電文の誤送信を防止するため、電文送信前に確認ダイアログを表示する業務コードを設定できます。例えば、輸出入申告（EDC、IDC業務）やとん税等納付申告（TPC業務）等の誤送信防止になります。設定されている電文の送信時、送信前確認ダイアログが表示されます。ただし、連続送信、及び一括送信時には、確認ダイアログは表示されません。



設定は [オプション設定] ダイアログの [送信前確認] タブページにて行います。

- ① [追加] ボタンをクリックします。
- ② 一覧に 1 行追加されますので、送信前確認を行いたい業務コードを選択します。
- ③ 一覧に選択した業務コードが追加されます。すでに追加している業務コードを追加しようとすると、エラーが表示されます。



○ 自動ファイル保存（電文種別単位）設定（[自動保存（電文種別単位）] タブ） 任意

電文受信時に自動ファイル保存を行う電文やファイルの保存先の設定を電文種別単位で行います。自動ファイル保存設定されている電文受信時、指定した保存先へ電文が自動的に保存されます。許可承認貨物情報等（A）と帳票出力電文（P）はチェックを入れて自動保存されることをお勧めします。設定は [オプション設定] ダイアログの [自動保存（種別単位）] タブページにて行います。

(1) 自動ファイル保存の有無（電文種別単位）

「自動保存する」のチェックを切り替えることで、自動ファイル保存を行うかどうかを設定します。チェック状態の場合、自動ファイル保存を行い、未チェック状態の場合は行いません。

電文種別(種別コード)	自動保存する	保存先	
許可承認貨物情報等(A)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\Record\	参照
社内インタフェース用情報電文(T)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\	参照
画面用出力情報電文(C)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\	参照
処理結果通知電文(R)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照
画面用出力情報電文・処理結果通知付(M)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照

(2) 保存先フォルダーの設定（電文種別単位）

電文種別単位で、保存先フォルダーを設定します。

- ① 「参照」ボタンをクリックします。
- ② 「フォルダーの参照」ダイアログが表示されますので、保存先に指定したいフォルダーを選択します。
- ③ 選択したフォルダーが「保存先」に設定されます。

電文種別(種別コード)	自動保存する	保存先	
許可承認貨物情報等(A)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\Record\	参照
社内インタフェース用情報電文(T)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\Text\	参照
画面用出力情報電文(C)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照
処理結果通知電文(R)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照
画面用出力情報電文・処理結果通知付(M)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照

フォルダーの参照

PC

- ダウンロード
- デスクトップ
- ドキュメント
 - Csv
 - Officeのカスタムテンプレート
 - Record
 - RecvUser
 - C

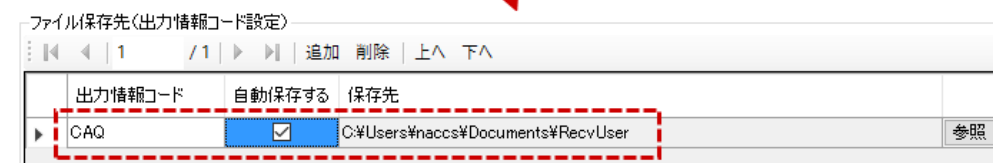
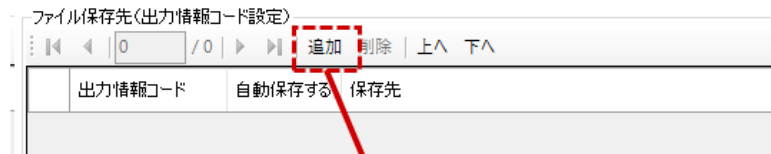
OK キャンセル

電文種別(種別コード)	自動保存する	保存先	
許可承認貨物情報等(A)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\Record	参照
社内インタフェース用情報電文(T)	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\Text\	参照
画面用出力情報電文(C)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\C	参照
処理結果通知電文(R)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照
画面用出力情報電文・処理結果通知付(M)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照
審判用情報電文(審決置き電文)(U)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照
帳票用出力電文(P)	<input type="checkbox"/>	C:\Users\naccs\Documents\RecvUser\	参照

○ 自動ファイル保存（出力情報コード単位）設定（「自動保存（出力情報コード単位）」タブ） 任意

電文受信時に自動ファイル保存を行う電文やファイルの保存先の設定を出力情報コード単位で行います。設定されている出力情報コードに前方一致した電文を受信した際、自動的に設定した保存先へファイル保存されます。設定は「オプション設定」ダイアログの「自動保存（出力情報コード単位）」タブページにて行います。

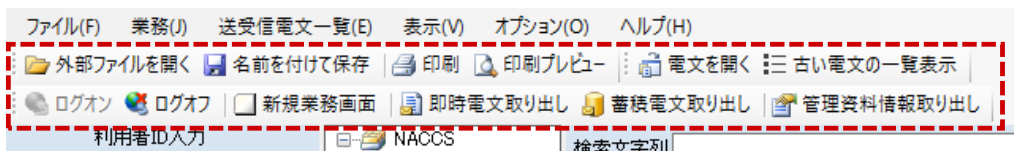
- ① [追加] ボタンをクリックします。
- ② 一覧に 1 行追加されますので [出力情報コード] に自動ファイル保存を行いたい帳票の出力情報コードを入力します。[出力情報コード] は 6 桁以下の半角英数字を設定できます。(前方一致)
- ③ 必要に応じて、[参照] ボタンをクリックして保存先を変更します。



○ ツールバー設定 ([ツールバー] タブ) **任意**

ツールバーとは、メインメニュー、及び業務画面メニューの頻繁に使われる機能を表示したもので、各機能ボタンをクリックすることで、各機能呼び出すことができます。

ツールバー設定では、メイン画面、及び業務画面のツールバーに表示する機能のカスタマイズを行います。



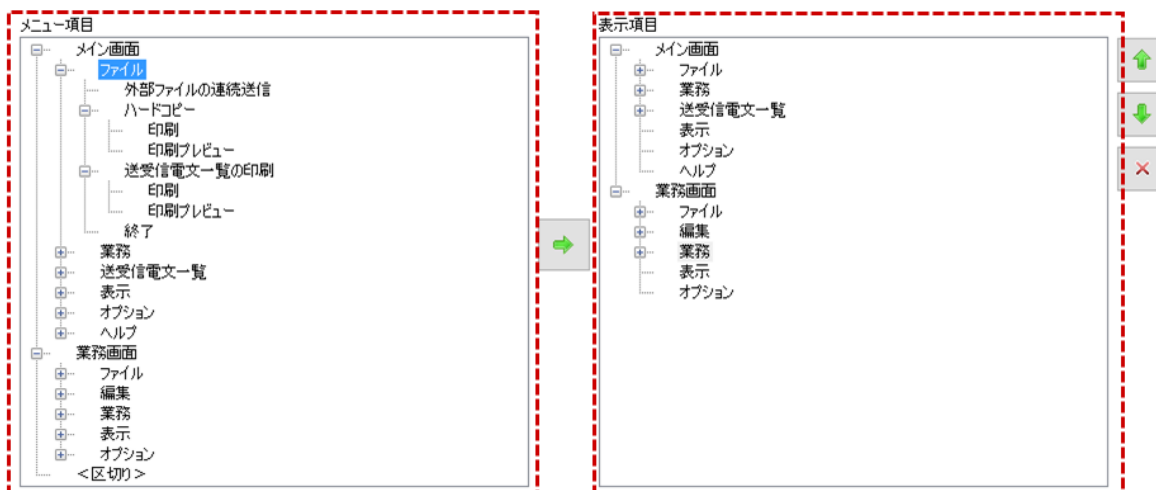
設定は、[オプション設定] ダイアログの [ツールバー] タブページにて行います。

以下の設定が可能です。

- ・ ツールバーボタンの追加、及び削除
- ・ 項目表示順の変更
- ・ 初期状態に戻す

ツールバーに表示する項目を選択します。

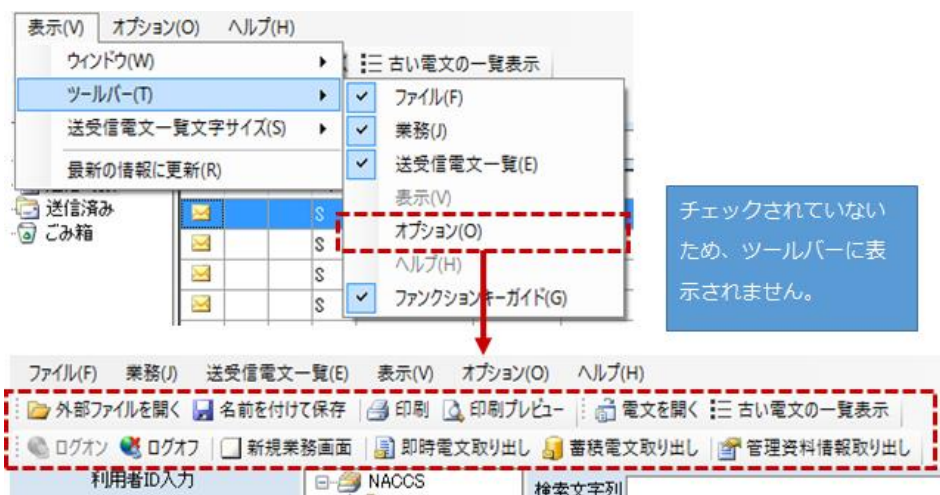
初期状態に戻す



[オプション設定] ダイアログの [ツールバー] タブページには、以下の二つのツリーがあります。

- メニュー項目 (左)・・・ツールバーに表示可能な項目
- 表示項目 (右)・・・ツールバーに表示される項目

表示項目に表示されていても、メインメニューの [表示 | ツールバー] でチェックされていないメニューカテゴリの項目はツールバーに表示されません。



業務画面の場合は、次回業務画面起動時に反映されます。ここで紹介したオプション設定は一例になります。詳細はパッケージソフト操作説明書で確認ください。